



ほんきであれ



多古町立多古第一小学校
2025年2月7日第23号(98号)

— たくましく生きる子どもの育成 —

思春期講演会

～命の大切さを学びました～



命を大切にする学習



妊婦体験



誕生体験



オムツ取り換え体験

1月29日(水)、助産師の斎藤葉子先生を講師にお招きして、思春期講演会を開催しました。この講演会は、6年生を対象に、命の大切さや思春期特有の悩みや体の変化等を学ぶために実施しています。今年度も保護者の方々にも呼びかけ、子供たちと一緒に参加をしていただきました。子供たちは、命の大切さの座学の後、体験学習として妊婦体験やオムツ取り換え体験、誕生体験をしました。この学習を通して、自分自身がこの世に生まれてきたことは、奇跡に近い出来事だったこと、そのような奇跡的に授かった命を大切にしなければならないこと、そして今育ててくれている自分の親やその周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れてはいけないことを学ぶことができました。お忙しい中、参加していただいた保護者の皆様には、感謝申し上げます。

校内研究会（国語科）を開催しました

<1年1組の授業>



<4年2組の授業>



1月21日(火)、千葉県教育庁北総教育事務所の小林晴美先生を講師としてお招きし、今年度3回目の校内研究会を開催しました。今年度の研究教科は国語科です。研究主題「表現力を高める国語科授業の在り方」をもとに、本校の学校教育目標「たくましく生きる子供の育成」の具現化を図るために、この1年間取り組んできました。

今回の研究会では、1年1組と4年2組が授業を展開しました。それぞれの学級の子供たちはタブレットを効果的に使い、自分の考えを分かりやすく発表したり、相手の意見を聞いて、自分の感想や意見を積極的に述べたりしました。

現代は超情報化社会といわれ、社会の変化は私たちの想像を超えるものがあります。そのような中、正しい情報を選択し、自分の考えを積極的に発信することは、子供たちにとって必要不可欠な力となります。そこで、本校の課題である「自分の考えを積極的に話すことができる」の克服に向けて、よく聞いて的確に答える力の向上のために、今後も研究を進めていきたいと考えます。